

迎賓館の魅力向上に向けた施設整備 ロジックモデル

事業の目的：赤坂迎賓館前の新宿区若葉東公園において、休憩機能・広報機能・観光案内機能等を備えた新たな施設を整備し、今後、より一層の観光振興の観点からも、赤坂迎賓館参観者の利便性・満足度の向上を図る。

インプット	アクティビティ	アウトプット	アウトカム	インパクト
予算額 【30年度】499 【29年度】196 (単位:百万円) ※事業開始は29年度	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設計及び敷地調査、施設の建設 カフェ等運営事業者の選定 	<ul style="list-style-type: none"> 休憩機能・広報機能・観光案内機能を有する施設の完成と運用 	【初期】 ・赤坂迎賓館参観者の利便性・満足度の向上 【中長期】 ・施設利用者数の増加 ・リピーター参観者の増加	観光資源の魅力向上による観光振興
・赤坂迎賓館の魅力向上に向けた施設整備のための予算	・未来投資戦略2017及び2018(平成29年6月9日閣議決定、30年6月閣議決定予定)	・施設営業日数・時間 ・施設の認知度 等	・赤坂迎賓館参観者を対象としたアンケートの満足度回答 ・施設利用者数 ・赤坂迎賓館参観者のリピーター割合 等	・国内・訪日外国人旅行客数 ・国内・訪日外国人旅行消費額 等

※現在施設建設中(～31年度)、32年度より施設運用を開始するため、アウトカム等は仮想定であり、各エビデンスのデータは、現時点では存在しないものが多い。

手段と目標の因果関係に関する検討の結果

・施設建設中・運用開始前であるため、因果関係を示す特段の調査・分析は無いが、平成28年度に赤坂迎賓館参観者を対象に実施したアンケート調査によると、カフェやトイレ、広報機能の整備を求める意見が多かったことから、これらを有する施設整備を行うことにより、参観者の利便性・満足度の向上に資すると考えられる。

・「観光資源の魅力向上による観光振興」の実現と施設整備の因果関係を示すエビデンスとして、今後必要と考えられるデータについて、現段階から検討し、アンケート調査等の質問項目に反映するなど、工夫していくことが重要。

【1】課題把握・目標設定

平成 28 年の一般公開以来、数多くの参観者が訪れている赤坂迎賓館においては、周辺エリアも含め、国内外の参観者等が利用する休憩施設や利便施設が不足している。観光資源の魅力向上に向けては、当該機能を有する施設を整備し、参観者の利便性・満足度を向上させることが必要。

【2】政策手段の比較・検討

国宝である赤坂迎賓館を改修し、上記の機能を有する施設とすることは困難であることから、赤坂迎賓館前の新宿区若葉東公園において、新たに施設を整備することとしている。

また、本施設が有する機能については、平成 28 年度に赤坂迎賓館参観者を対象に実施したアンケート調査結果を踏まえ、参観者ニーズの高い、カフェや物販、トイレ、広報機能等とすることとしたものである。

【3】手段と目標の因果関係の検討

施設建設中・運用開始前であるため、因果関係を示す特段の調査・分析は無いものの、【2】で示したアンケート調査結果において参観者ニーズの高かった機能を有する施設を整備することにより、参観者の利便性・満足度を向上させ、それがひいては観光資源の魅力向上と観光振興につながるものと考えられる。

【4】効果の測定

施設建設中・運用開始前であるため、現段階で本事業の実施による効果を測定することは不可。ただし、因果関係や効果を測定するエビデンスとして、今後必要と考えられる様々なデータについて、現段階から検討し、例えばアンケート調査の質問項目に反映することや、新たに調査を実施するといった取組を進めていくことが重要。